

マダイの遺伝子選抜技術の開発と 実用化についてのお知らせ

お客様各位

弊社では成長や耐病性について遺伝子選抜技術の開発を行ってまいりましたが、この度、マダイについて成長選抜育種に有効なDNAマーカーの開発に成功しましたので、概要を報告いたします。また、現在使用している親魚についても簡単にご説明させていただきます。

今回開発した成長関連DNAマーカーを指標とした親魚選抜(マーカーアシスト選抜)は平成25年から実施しており、平成25年春仔からは以前の種苗とは全く異なる性質の種苗となっています。

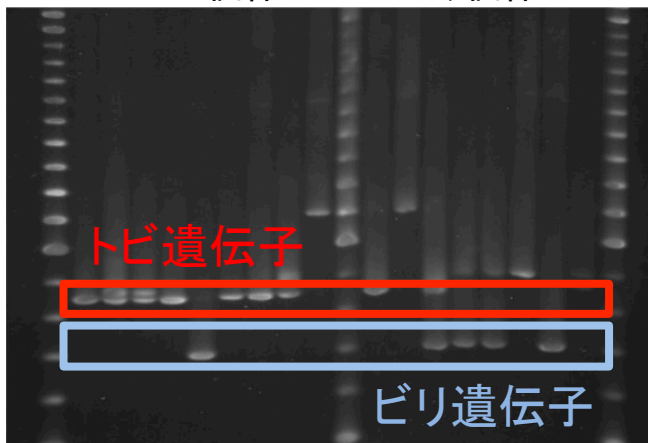
フィールド試験においても餌食いと成長は好成績を納めており、養殖業者の皆様の期待に添える稚魚であると思っています。また、本手法を応用して、耐病性についての遺伝子選抜技術の開発も実施しており、耐病性形質に関連が有るとされるいくつかのDNAマーカーの開発に成功しております。数年後には耐病性種苗が商品化出来るように、現在、研究を進めているところです。

是非一度、まる阿のマダイをご検討頂けましたら幸いです。

マーカーアシスト選抜についての概略

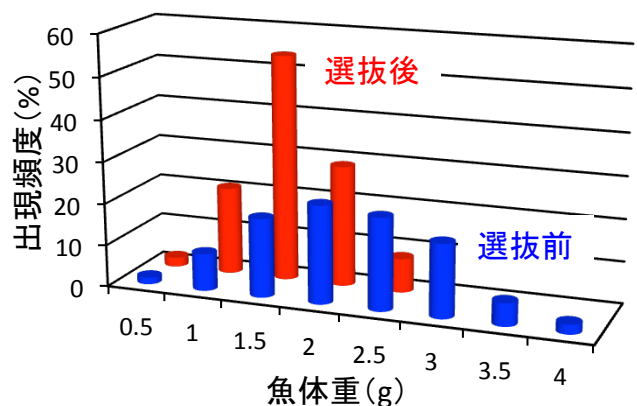
トビ個体

ビリ個体



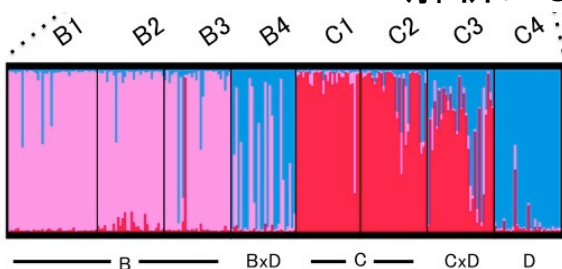
ビリ遺伝子を保有している親魚を積極的に排除

マーカーアシスト選抜実施後の飼育成績



サイズのバラツキが少ない魚群を生産することに成功

DNA解析による親魚集団の選定



まる阿親魚群の遺伝的構造

各親魚を種苗生産に用いた時の飼育成績と親魚の遺伝的バックグラウンドを加味して、各親魚群が有している形質を評価しています

本研究は愛媛大学と共同で実施し、平成25年度日本水産学会春季大会で発表しました。